

## ITECセミナー開催のお知らせ

自動運転普及のための政策とその効果  
：事故損失削減の観点から

日時 2017年6月13日（火）15：30～17：00

場所 同志社大学 東京サテライトキャンパス

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階  
<http://tokyo-office.doshisha.ac.jp/access/map.html>講師 同志社大学 政策学部 教授  
技術・企業・国際競争力研究センター長  
三好 博昭

## プロフィール：

民間シンクタンクの研究者として、長年、調査研究活動、政策提言活動に従事し、2004年より同志社大学研究開発推進機構専任フェロー（教授）、2008年より総合政策科学研究科教授、2017年より現職。自動運転をはじめとする新技術の厚生経済学的研究に従事し、現在SIP-adus国際連携WGの準構成員を務める。

主著に『自動車の技術革新と経済厚生』（白桃書房）、Technological Innovation and Public Policy: The Automotive Industry (Palgrave Macmillan)など。

## 講演の概要：

この講演では、自動運転技術の普及のための政策とその効果を、事故損失削減効果に焦点をあてて、経済学的な観点から解説します。主な内容は以下の通りですが、それぞれについて、経済モデルを用いた計算結果を報告する予定です。

- 1) アクティブ・セーフティ技術の重要性
- 2) 自動運転によってもたらされる便益の大きさとその帰属先
- 3) 利用する技術（自律型、車車協調型、路車協調型）による便益（大きさと帰属先）の違い
- 4) 追突防止技術並びに車線逸脱防止技術によって発生する便益
- 5) 普及政策評価（1）：デバイス搭載義務化の評価
- 6) 普及政策評価（2）：車車協調型における効果的なクリティカル・マス形成方法

## プログラム

15：30～16：30 講演

\*来聴歓迎\*

16：30～17：00 質疑応答

\*参加費無料\*

## ITEC セミナーシリーズ3 「ロボット・AIと社会制度」

ITECセミナーは、新しい技術に対応した社会の新しい仕組みを展望することを目的に、いくつかの論題を設定して、様々な視点からシリーズで議論していくことを運営方針としています。

今回のセミナーは、「ロボット・AIと社会制度」シリーズの一環として開催するものです。

近年のAI、ロボット技術の進展は、人類社会の発展に大きく寄与することが期待されている一方で、人間と機械との関係、人間と人間の関係、さらには人の人としての生き様にまで大きな影響を及ぼすことが予想されています。現在、世界的に注目を集めている自動運転技術は、こうした技術が市民の目前に突如として姿を現した1つの例であり、機械と人間の関係性を具体的に問うています。このシリーズでは、こうした問題意識の下、AI、ロボット技術を活かしつつ、その負の側面を制御していく社会の新しい仕組みを議論します。

= お申込み・お問合せ =

同志社大学

技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）

URL：<http://www.itec.doshisha-u.jp/>

TEL：075-251-3779

e-mail：[itec@doshisha-u.jp](mailto:itec@doshisha-u.jp)